

Audit Committee Brief



Audit Committee Brief は、監査委員会にとって重要な問題や考察をタイムリーに取り上げることに注力しています。ご質問やご意見、ご提案のある方は、auditcommittee@deloitte.com宛にご連絡ください。

[Brief アーカイブの閲覧](#) | [Audit Committee Resources](#)
[アプリケーションのダウンロード](#)

注目の公表物や話題

監査委員会の開示に関する2015年の傾向

監査品質センターとAudit Analyticsが共同で公表した、今年度2回目となる監査委員会の透明性のバロメーターは、監査委員会の委任状勧誘の開示について前年比の情報を提供します。2015年度の報告書は、外部監査人の監督の自主的開示の拡充に対応しており、この分野の主要なプラクティスの事例を紹介しています。

[詳細を見る](#)

[Read Deloitte's Current Trends in Audit Committee Reporting](#)

SEC主任会計官、監査委員会が直面する課題を議論

第二回年次UCアーバイン監査委員会サミットで、ジム・シュヌレ (Jim Schnurr) 氏は、監査委員会の開示に関するSECのコンセプト・リリースや財務報告に係る内部統制の重要性、開示の有効性等、監査委員会が直面している課題に対する氏の視点を共有しました。またシュヌレ氏は、2018年に発効となる新たな収益認識基準の導入についても論議しました。シュヌレ氏

は、監査委員会が収益認識基準の導入の監督に関与するよう推奨するとともに、企業は2015年度の財務諸表において予想される影響の開示に着手すべきであることを指摘しました。

[スピーチを見る](#)

[収益認識に関するシュヌレ氏の発言を見る](#)

コンプライアンス・リスクの評価: 世界基準の倫理とコンプライアンス・プログラムに第三の要素

絶えず変化する規制環境の中、ほとんどの企業でコンプライアンス・リスクに対する脆弱性が増加しています。リスクの複雑性の状況や不遵守に対する罰則を考慮すると、組織にとって、コンプライアンスのエクスポージャーの徹底的な評価の実施が不可欠です。デロイトの出版物は、より幅広い見方を得るためにコンプライアンス・リスク評価の利用を調査しています。

[詳細を見る](#)

2015年度監査での関連当事者間の取引

ほとんどの企業にとって、2015年度末の監査は、昨年PCAOBが採択した新しい監査基準第18号 *関連当事者* に基づく初年度の監査となります。コンプライアンス・ウィークの記事では、監査基準第18号で規定される監査人への要求事項を考察します。監査基準第18号は、企業向けに新しい会計処理上の規定を設定するものではなく、また管理プロセスや統制の新たな規則を確立するものでもありませんが、企業がどのように関連当事者を識別しているか、また関連当事者間の取引を監視するプロセスや統制はどのようなものかに対して、監査人の

注目度がさらに高まることとなります。監査基準第18号により、経営トップ、取締役会メンバー、または株主が、会社との取引を行う外部企業との間に存在するあらゆる関係性に対し、その監視がより厳格化することとなります。

[詳細を見る](#)

監査委員会の財務報告の調査を守る、18のセーフガード

SECが不正な財務報告に改めて注目している点を踏まえて、ウィルキー・ファー&ギャラガーLLPのマイケル・ヤング氏は、監査委員会による財務報告の調査を新しい目で見直すことを提唱しています。各調査のニーズは異なるものの、特定の手続については、調査の妥当性および客観性の過度な妥協から守るセーフガードを最初の段階で確立することができます。

[詳細を見る](#)

SECのコメント・レター(Industry Insights:「エドガー」は私たちに何を語ったかを含む)

デロイトのSECコメント・レター・シリーズの新リリースは、公表されたSECスタッフ・コメントの抜粋、追加的な分析、SEC登録企業に関連するリソースへのリンクを提供します。

[詳細を見る](#)

規則制定および基準設定の動向

FASBがリース基準を発行

FASBは最近の会議で、リース会計を全面的に見直す待望のプロジェクトに関し、最終基準の発行に向けて進む方向で票決しました。この最終基準は2015年末か2016年初頭の発行が予想され、発効は2019年になります。

[詳細を見る](#)

FASBの11月2日付会議でのハイライト

FASBは最近の会議で、開示の枠組みのプロジェクト、年金費用および退職後給付費用、ならびに概念的枠組みについて議論しました。

[詳細を見る](#)

SEC、2015年度に実施した強制措置を発表

SECは10月、2015年度に807件の強制措置を講じたことを報告しました。この強制措置は、「ゲートキーパー責任」や「金融詐欺の防止と発行体の開示強化」を含むカテゴリーに要約されています。また本報告の中で、財務報告は引き続き、強制措置の主要な優先事項となる点にも言及しています。

[詳細を見る](#)

SEC、クラウドファンディングに関する最終規則を発行

SECは、適格企業が証券の売買時にクラウドファンディングを利用することを容認する最終規則を公表しました。

[詳細を見る](#)

デロイトトーマツグループは日本におけるデロイトトウシュートーマツリミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイトトーマツコンサルティング合同会社、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイトトーマツ税理士法人およびDT弁護士法人を含む)の総称です。デロイトトーマツグループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、法務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約40都市に約8,700名の専門家(公認会計士、税理士、弁護士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイトトーマツグループWebサイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)は、監査、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザーサービス、リスクマネジメント、税務およびこれらに関連するサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界150を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを提供しています。デロイトの約225,000名を超える人材は、“making an impact that matters”を自らの使命としています。

Deloitte(デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイトトウシュートーマツリミテッド(“DTTL”)ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTLおよび各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または“Deloitte Global”)はクライアントへのサービス提供を行いません。DTTLおよびそのメンバーファームについての詳細はwww.deloitte.com/jp/aboutをご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、その性質上、特定の個人や事業体に具体的に適用される個別の事情に対応するものではありません。また、本資料の作成または発行後に、関連する制度その他の適用の前提となる状況について、変動を生じる可能性もあります。個別の事案に適用するためには、当該時点で有効とされる内容により結論等を異にする可能性があることをご留意いただき、本資料の記載のみに依拠して意思決定・行動をされることなく、適用に関する具体的事案をもとに適切な専門家にご相談ください。

PCAOB、リスク評価基準の適用における不備を強調

PCAOBは、リスク評価基準の実施および遵守に関して、2012年度から2014年度までの登録会計事務所への検査時に指摘した不備の詳細を報告書にまとめ、発表しました。

[詳細を見る](#)

IASB、重要性に関する実務ステートメント案を公表

IASBは、財務諸表に対する重要性の適用を提案するIFRS実務ステートメント(IFRS practice statement)の公開草案を公表しました。この実務ステートメントは、重要性の概念を解説し、かつこの概念を財務諸表作成者が適用することの支援を目指すものです。コメントの提出期限は2016年2月26日です。

[詳細を見る](#)

近日配信予定のDbriefs

Leaders and laggards: Creating shareholder value through customer experience measurement and brand protection risk management
(先行者と遅行者:顧客体験の測定およびブランド保護リスク管理を通じた株主価値の創造)

11月19日、午後2時(米国東部標準時)

[詳細を見る](#) | [今すぐ登録する](#)

Boardroom agenda 2016: Hot topics and the future landscape

(2016年度の役員会議の議題:ホットピックと将来の景観)

12月15日、午後2時(米国東部標準時)

[詳細を見る](#) | [今すぐ登録する](#)

Quarterly reporting roundup: An update on important developments

(四半期報告書の総まとめ:重要な動向のアップデート)

12月15日、午後2時(米国東部標準時)

[詳細を見る](#) | [今すぐ登録する](#)

[近日配信予定のDbriefsの一覧を見る。](#)

デロイトのその他のリソース

[Audit Committee Brief](#) その他の刊行物の購読を申し込む

[監査委員会向けのページ](#)

[コーポレートガバナンスセンター](#)

[USGAAP Plus](#)

[Accounting for Income Tax: Quarterly Hot Topics](#)

[ウォール・ストリート・ジャーナル掲載のリスク&コンプライアンスにおけるデロイト投稿記事](#)